

2022年10月11日

関東教区諸教会・伝道所御中

「2022年度関東教区諸教会・伝道所 祈りの課題」配布のお知らせ

主の御名を賛美します。

2022年度の関東教区宣教部の取り組みの一つとして、「祈りの課題」の集約と発行がありました。

このために、関東教区諸教会・伝道所の皆さまにそれぞれの教会の祈りの課題の提供をお願いしたところです。ご協力をありがとうございました。

関東教区内のすべての教会からの課題の提供はありませんでしたが、ここに「2022年度関東教区諸教会・伝道所 祈りの課題」として発行させていただくこととなりました。

すでに10月も半ばをむかえる中での発行ですので、「関東教区お祈りカレンダー 2022.7～2023.6」の中の7月～10月の祈りに間に合わなかったことを、ここにお詫びいたします。また、在日大韓基督教会やミナハサ福音キリスト教会、関係団体や学校までは今回網羅することはできませんでした。とはいえ、関東教区に属する教会と伝道所よりの祈りとして、皆さまで共有をしていただければ幸いです。

次年度以降は、この祈りの課題をお祈りカレンダーの発行に合わせて毎年更新したいと考えておりますので、次回にはもっと充実した「祈りの課題」となるよう取り組みたいと願っています。

「お祈りカレンダー」と「祈りの課題」は、教区が独自に取り組んでいる「ナルドの壺献金」の推進の中から生まれました。それは、「ナルドの壺献金」が、「関東教区の祈りの連帯の業」であってほしいとの願いによるものです。「ナルドの壺献金」は、「祈りの献金」です。そこには、「献げる側と受ける側」という関係はありません。互いに祈り合って、献げ合う関係です。

1985年に始められた「ナルドの壺献金」は大きく成長し、年間目標額は1,200万円になり、主に「謝儀互助」として用いるほか、「緊急互助」、「教団年金互助」、「退職金互助」にも用いられています。そのようにして、教会財政が厳しく教師招聘が困難な教会・伝道所との連帯や経済的に困難な教師との連帯が進められています。

2022年度もあと半期となりましたが、どうか「お祈りカレンダー」と「祈りの課題」を活用くださいますようよろしく願いいたします。

関東教区宣教部委員長 飯塚拓也

*なお、郵送費削減のため、「2022年度関東教区諸教会・伝道所 祈りの課題」は、各地区のご協力をいただきEメールにてお届けさせていただきました（関東教区のホームページにも掲載しています）。このため、Eメール受信が困難な教会やプリントアウトが困難な場合には郵送でお届けもいたします。郵送をご希望の教会は、教区事務所までお知らせください。電話番号、048-647-0862 です。